

<全体分析>

試験時間 2科目 150分

解答形式

記述・論述

分量・難易 (前年比較) 分量 (減少)・変化なし・増加 難易 (易化)・変化なし・難化

出題の特徴

第1,2,3問いずれも近年稀にみる簡単な問題が出題された。

特に、有機が簡単になり、分量も減った。

無機の各論の出題が多かった。

その他トピックス

有機が第1問になり、第3問が理論になった。

有機は大問1題に変わった。

論述問題で字数指定がなくなった。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
第1問	記述,論述 計算	有機	化学	$C_4H_6O_2$ の異性体、アクリル系繊維、 吸水性高分子	易
第2問					
I	記述,論述 計算	理論, 無機, 有機	化学	塩化銀の感光性、銀鏡反応、陽イオンの分離、 炎色反応、硫化物の分離	やや易
II	記述,論述	理論, 無機	化学・ 化学基礎	窒素の酸化物、二酸化窒素と水の反応、硝酸の製法、 二酸化窒素の電子式と会合	やや易
第3問					
I	記述,論述 選択,計算	理論	化学	鉛蓄電池、電気分解、気体の水上捕集	易
II	記述,論述 選択,計算	理論	化学	アンモニア合成の気相平衡	やや易

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

基礎力を確立するとともに思考力・応用力を養成すること。論述問題が多いので、「過去問」などを通じて、論理を明確に展開する力を付けておく必要がある。

今年度は例年になく簡単な問題が出題されたが、この傾向が来年度も続く保証はない。